

天皇陛下御即位記念  
**いきいき茨城ゆめ国体2019**  
 第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

**センター・ファイア・ピストル男子 60 発競技 (CFP60)**  
**センター・ファイア・ピストル男子 30 発競技 (CFP30)**

10月4日(金)から6日(日)までの3日間、茨城県警察学校射撃場において、天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」ライフル射撃(CFP)競技会が開催され、3日間で約1,500人の方が来場しました。

射撃場内の観覧席で、大きな銃声や選手の射撃技術を近くで感じた観客は、その迫力に驚きながらも、熱心に観戦していました。また、会場では各団体の協力により振舞われた、町の名産品を使ったしじみ汁やメロンシェイクなどをおいしそうに食べる選手たちや、ビームピストル体験を楽しむ来場者の姿が見られました。



競技会に出場した選手の皆さん



**競技会の結果 (敬称略)**

種目：成年男子センター・ファイア・ピストル 60 発競技  
 1位 松本 洋(愛知県) 2位 吉岡 大(京都府) 3位 村山 敦史(栃木県)  
 種目：成年男子センター・ファイア・ピストル 30 発競技  
 1位 中西 公光(奈良県) 2位 松本 洋(愛知県) 3位 柳川 明博(熊本県)



9/11 (水) **茨城町ぶどう生産研究会**  
 ぶどうの品種検討会および試食会



町内のぶどう生産者9人で組織される茨城町ぶどう生産研究会(平沢静夫会長)が小林宣夫町長を来賓に迎え、町総合福祉センター「ゆうゆう館」で品種検討会を開催しました。

「巨峰」をはじめ、人気の「シャインマスカット」など17品種、合計30点のぶどうが持ち寄られ、色付き、房の形、味、栽培方法など、より高品質なぶどうの生産に向けて、生産者間で活発に意見が交わされました。

その後、来館者向けに実施した試食会では「町内でこんなに沢山の種類のぶどうが作られているとは驚いた。色々な種類のぶどうを食べ比べられる機会は滅多にないので嬉しい。どれも甘くておいしい。」と大変好評でした。

9/7 (土) **第2回 瀬沼環境学習会**  
 瀬沼周辺の景勝地訪問とハゼ釣り



町では、ラムサール条約登録湿地である瀬沼の豊かな自然にふれあう体験型の学習会を開催しています。

第2回目の学習会では、瀬沼及び下流部の見学を行いました。午前中には、瀬沼川と那珂川の合流地点で水戸八景にも選ばれる「巖船の夕照」と瀬沼のビュースポットでもある「夕日の郷松川」を訪問しました。また、午後には「いこいの村瀬沼」に移動。ハゼ釣りをを行い、マハゼ・セイゴ・ヌマチチブ・コイなど瀬沼に生息する様々な魚を釣ることができました。魚が釣れた際は周りから歓声が上がリ、大変盛り上がりました。

**町内の新規就農者向け**  
**農作業の農福連携事業を開始**



就農直後の新規就農者は、常時雇用による労働力の確保が難しく、農繁期や除草作業時に一時的な労働力不足が生じている現状がありました。そのため、町は新規就農者と障がい者の就労機会を求めている福祉団体等のマッチングを行う、農福連携事業を開始しました。

今回は、ネギ農家と町内にある就労支援事業所「はたらくガッツ村 受注・生産所」による除草作業の取り組み。農家さんからは「夏場の除草作業が追い付かない時期に協力していただき、大変助かった。去年までは除草が追い付かず、廃棄してしまっていた作物が収穫できる。」と大変好評でした。参加した福祉施設の方々も屋外の作業に気持ち良さそうな表情で取り組んでいました。

9/20 (金) **茨城町戦没者追悼式**  
 戦没者の冥福と平和を祈る

茨城町戦没者追悼式がやすらぎの丘で開催されました。

追悼式には遺族の方や関係者など、約140人が参列。黙とうと献花で戦没者に追悼の意を表し、平和の誓いを新たにしました。

茨城町遺族連合会会長の丸山昇一さんは「二度と悲惨な歴史を繰り返さぬよう、戦争から学んだ教訓と平和の尊さを次世代にも語り継いでいきたい。」と追悼の言葉を述べました。

